

まなび

令和4年3月1日(火) 東松島市立赤井小学校

12月に実施した標準学力調査の結果についてお知らせします。本校の学力は、市内と比較すると上回っている領域が多いですが、全国と比較すると下回っている領域が多い現状にあります。現在、標準学力調査の結果を各学年で更に考察し、学力向上に向けて今から行えることを確認しているところです。今後、スキルアップタイムや業前活動の国算タイムで、苦手分野の克服や基礎固めをしていきます。

令和3年度12月標準学力調査の結果から

1 国語

(1) 領域別正答率 (東松島市:左 全国:右との比較・・・上回った◎ ほぼ同等○ 下回った△ 特に下回った▲)

	言葉の特徴や 使い方		情報の扱い 方		我が国の言 語文化		話すこと・ 聞くこと		書くこと		読むこと		平均正答 率	
	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
1年生	◎	◎	◎	◎	/		◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2年生	◎	◎	◎	◎	/		◎	◎	◎	△	◎	○	◎	○
3年生	◎	△	○	▲	/		◎	△	◎	△	▲	▲	○	△
4年生	○	△	◎	△	◎	○	◎	△	▲	▲	△	▲	○	▲
5年生	○	△	▲	▲	△	▲	△	▲	▲	▲	◎	△	△	▲
6年生	◎	△	○	○	△	▲	◎	◎	△	▲	△	△	○	△

(2) 結果と考察

1, 2年生は、全国と同等もしくは上回る結果となっています。4月当初課題となっていた「読むこと」については、改善傾向です。また、どの学年も4月の調査に比べ正答率のばらつきが減り、クラス内での二極化が解消されてきています。一方で、領域別で見る「書くこと」については、1年生を除いて課題が見られています。学習の様子を見ていると、自分の考えを書いて表現できる子供たちは増えてはいます。しかし、問題に対する適切な文末表現や「○○の言葉を使って・・・」「○字以内」などの条件が付くことで苦手意識が高まるようです。今後は、問題に対応した書き方や表現の仕方を示しながら、長文読解のプリント学習等も通じて様々な文章や情報に触れる機会を増やしていきます。

2 算数

(1) 領域別正答率 (東松島市:左 全国:右との比較・・・上回った◎ ほぼ同等○ 下回った△ 特に下回った▲)

	数と計算		図形		1~3年測定 4~6年変化と関係		データの活用		平均正答率	
	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
1年生	◎	◎	◎	◎	◎	◎	/		◎	◎
2年生	◎	△	/		◎	△	/		◎	△
3年生	◎	△	◎	○	◎	○	/		◎	△
4年生	○	▲	○	○	○	△	○	▲	○	▲
5年生	◎	△	◎	△	◎	▲	◎	△	◎	△
6年生	◎	○	◎	◎	◎	◎	/		◎	◎

(2) 結果と考察

全学年、市内と比較すると全領域で上回るか、ほぼ同等の結果となりました。全国との比較では、1年、6年生を除き下回っています。しかし、3年、5年においては4月の調査と比べ正答率が伸び、全国との差が縮まる改善傾向が見られました。課題は、問題文を適切に読み解く力と既習事項の活用の仕方です。学力向上の頑張りを褒めながら、今後は、スキルアップタイムや国算タイムで基礎基本の定着を図り、既習事項を生かした課題把握に力を入れて取り組んでいきます。